



2021年2月8日

各 位

会 社 名 株式会社ダスキン
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 山村 輝治
 (コード番号：4665 東証第一部)
 問合せ先 取締役 執行役員 経営企画部長 大久保 裕行
 電話 06-6821-5071

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年2月8日開催の取締役会において、2020年10月29日付で開示した2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 修正の内容

(1) 連結業績予想数値の修正

2021年3月期 通期(2020年4月1日～2021年3月31日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	149,700	1,100	3,500	600	12円16銭
今回修正予想(B)	152,100	1,400	3,700	700	14円19銭
増減額(B-A)	2,400	300	200	100	—
増減率(%)	1.6	27.3	5.7	16.7	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	159,102	6,577	7,929	5,591	109円95銭

(2) 個別業績予想数値の修正

2021年3月期 通期(2020年4月1日～2021年3月31日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	120,100	△700	2,700	400	8円11銭
今回修正予想(B)	122,100	△300	3,200	700	14円19銭
増減額(B-A)	2,000	400	500	300	—
増減率(%)	1.7	—	18.5	75.0	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	127,838	3,956	7,419	5,614	110円39銭

2. 修正の理由

当社は、2020年10月29日に、新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)の新規感染者が再び増加傾向に転じた状況に鑑み、先行きの不透明感が更に高まるものと想定し、当下半期におきましてもコロナの業績への影響を相当程度見込まざるを得ないと判断して当期の業績を試算し、通期業績予想を修正、公表いたしました。

それに対して第3四半期は、コロナの状況が一層深刻化した一方で、業績に与える影響は総じて想定を下回り、すべてのセグメントで計画を上回る売上高を計上することとなりました。通期においても予想を上回る見通しとなりましたので、業績予想を上方修正することとしたものです。前回修正時に、より高い効果を得るために使用時期を下半期にスライドした広告販促費用等の使用は、現段階ではその一部に留まっておりますが、第4四半期に計画に沿って使用してまいります。

訪販グループは、コロナ禍での“衛生対策”“イエナカ需要”“代行需要”等に対応して、9月から展開しているグループ内を横断するキャンペーンを継続すると共に、新商品「TuZuKu 持続除菌洗浄剤」を発売する等、衛生ブランド「ダスキン」確立のための活動に注力しており、引き続き新規顧客獲得のために広告販促費用を投じてまいります。フードグループは、発売した商品が高い評価を得て計画を大きく上回る状況で推移しております。今後も、衛生対策を進めつつ、高まるテイクアウト需要を更に掻き立てる商品の開発・発売に注力すると共に、ネット予約システムの開発等に費用を投じてまいります。

なお、2021年3月期の配当につきましては、2020年6月10日に開示した予想の修正は行いません。既に実施済みの第2四半期末20円に加えて期末20円の配当を実施し、1株当たりの年間配当合計は40円となる予定であります。

(注)上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、コロナの拡大又は終息の状況等、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

以上

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

株式会社ダスキン 広報部 電話 06-6821-5006